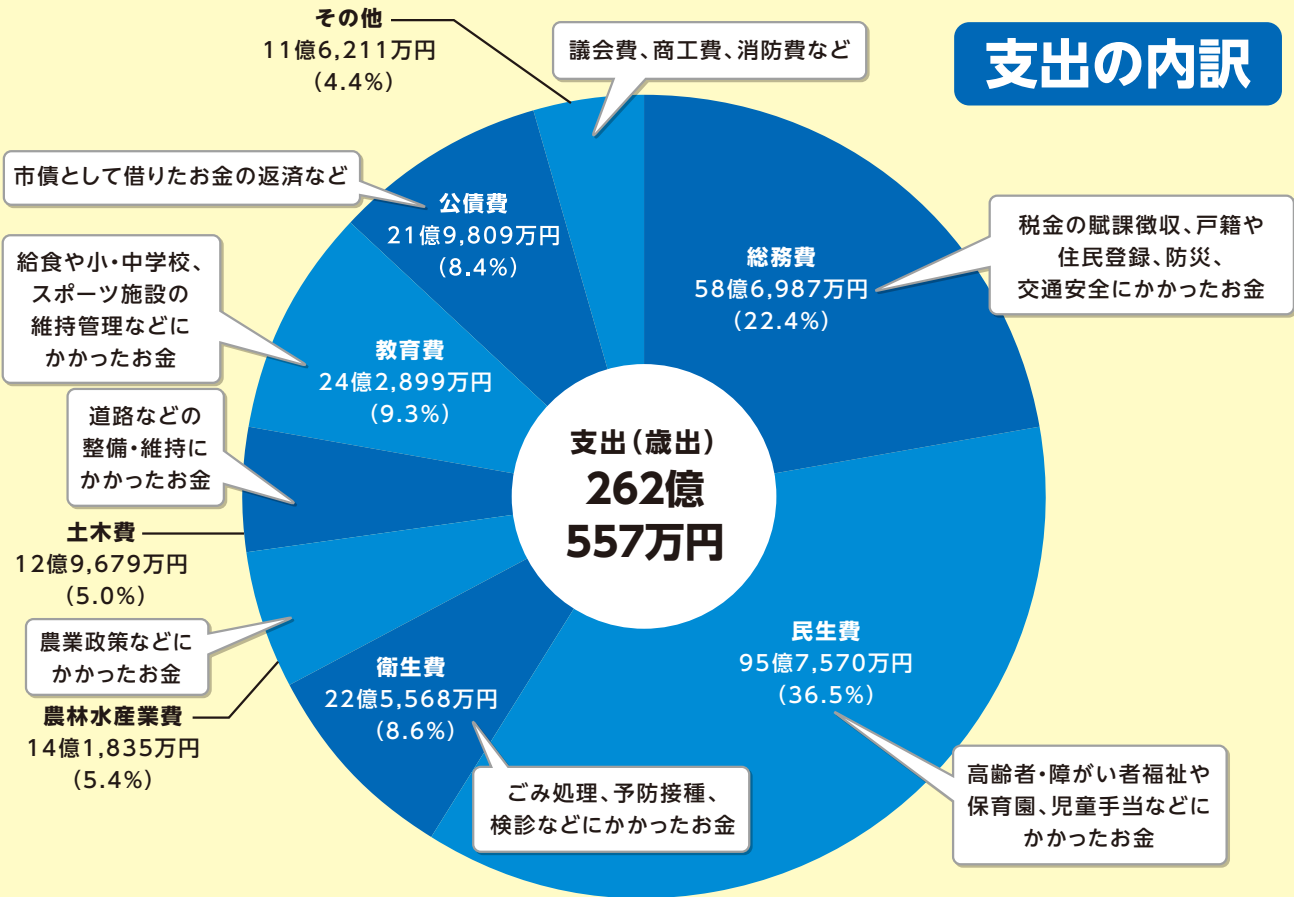


支出の内訳



空き家対策 推進事業

Q 執行率15・4%と低い理由は。

A 緊急安全措置委託料は、事案が0件で、危険空き家除去費補助金は、相談はあったが、要件に該当したのは1件。

Q 空き家予備軍の対策は。

A 傾向として、高齢者世帯等の物件が多く、高齢者と直接関わっている高齢福祉課と連携し啓発活動を行っている。



▲危険空き家の一例

新婚世帯居住費 支援事業

Q 地区別の新築件数の状況は。

A 佐屋地区12件、佐織地区10件、立田地区3件、八開地区1件。

一般不妊・不育症 治療費補助

Q 少子化対策の充実を図る目的で実施されている。執行率は6割程度だ。利用の向上などPRの取り組みは。

A ホームページの掲載により、制度の概要、補助対象者、治療内容、申請方法などを案内し、情報発信に努めている。

Q 不妊治療の効果があつた人数は。

A 令和2年度6人、3年度5人に治療効果があつた。

佐屋駅周辺 整備事業

Q 名鉄、県、県警と協議した内容は。

A 名鉄とは、事業化調整に係る事前の相談。県とは、関係課との都市計画決定の内容と確認及び駅前広場の整備案。県警とは、駅前の事業化に係る事前相談をした。



▲整備・調整が進む佐屋駅